

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年11月12日(木)

時 間	4校時	5校時
学 級	2年A組(場所:教室)	2年B組(場所:教室)
児 童	男子11名 女子13名 計 24名	男子11名 女子14名 計 25名
指導者	教 諭 藤田 亨	教 諭 小田中 千春

育てたい主となる能力(基礎・基本)

時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと(読むこと イ)
文の中における主語と述語との関係に注意すること(言語事項 エー (ア))

- 1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう
教材名 「サンゴの海の生きものたち」 (光村図書 2年上 たんぼぼ)
「卵をまもる生きものたち」 (自作教材)
参考文献 学研の図鑑(魚・水の生きもの 他)
小学館の図鑑(魚)
フレーベル館の図鑑(さかなとみずのいきもの)
福音館書店(たくさんのふしぎ)

2 児童観

児童は読書に対する関心が高く、進んで本を読む子が多い。音読は毎日の家庭学習として取り組ませているが、文章を読む力には個人差がある。友達の話をも最後まで聞こうとする態度が出来てきており、自分の意見を積極的に話そうとする児童が多い。しかし、文の中から根拠を見いだすのではなく感覚的な答えを出してしまう児童や、自分の考えを言葉でうまく言い表せない児童も何人かいる。

これまでに、1年生上「じどう車くらべ」や1年生下「どうぶつの赤ちゃん」で、説明文を読むことによって未知のことを知る喜びを味わってきている。また、形式段落を見つけたり、問いの文を見つけて答えたりする学習をしてきている。1学期は「たんぼぼのちえ」で、時間的な順序や、文末表現(～です。～からです。)に気を付けて読むことを学習した。文章の中から、様子や理由を表す文を探すことで、たんぼぼの仲間を増やす知恵を整理し読み取ることが出来るということを学んだ。そして、定着教材『すみれとあり』で、文末表現に気を付けて読むと、問いの文に対する答えが分かるということを確かめた。

3 教材観

本単元「だいじなところに気をつけて読もう」は、海の生き物たちが互いに役立って暮らしていることを、事柄の順序を考えながら読み取り、その後、読み取ったことを生かして、読書活動などを通して主体的に学習していこうとする態度や、確かに読む力を育てていくことをねらいとしている。

本教材「サンゴの海の生きものたち」は、日頃なじみ深いとはいえない海の生き物の共生について述べている説明的文章である。教材文と共に使われている写真は鮮明であり、児童にとっては難しい「共生」についての学習を進める上で役に立つと思われる。この教材は典型的な説明の形式を持ち、4つの部分で構成されている。文章構成は「はじめ」の問題提示、「なか1・なか2」の具体例、「おわり」でまとめという順序になっているため、事柄の関わり合いを考えさせることで、確かに読み取る力を育成することが出来るを考える。

定着教材「卵をまもる生きものたち」では、教科書教材と同様に水の中の生きものについて説明した自作教材である。子ども達の読みの方法を定着させるために、教科書教材と同じ構成にした。読みの方法を定着させると共に、次時の表現活動のヒントとなるように、何種類かの生きものの写真を例として取りあげた。

最後に「生きもの はっけんブック」を作ることを知らせることで、目的意識を持って学習を進め、海の生き物の特徴や関わり合いについて調べ、挿絵に説明的文章を加えた「生きもの はっけんブック」を作り、表現力を培うことが出来る単元だと考える。

4 指導にあたって

「生き物の特徴」と「関わり合い」を読み取らせるためには、問いの文と関連づけて読むこと、主語と述語の関係に注意して読むこと、写真と文を照らし合わせて読むことが大切であると考えた。

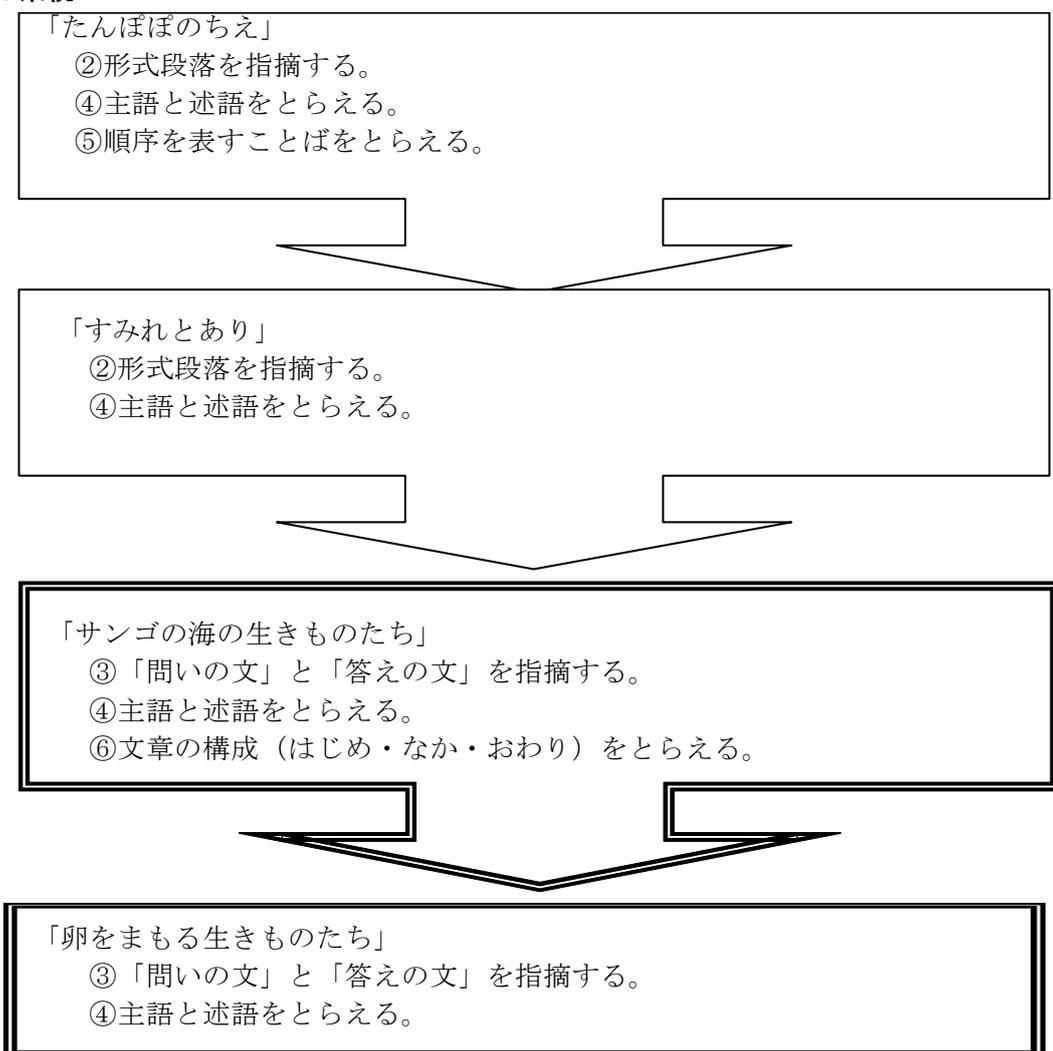
学習計画の第1次の段階では、海の写真を見せたり「スイミー」の学習を思い出させたりして、海の生き物についてのイメージを膨らませていく。そして、四つのまとまりに分けて、大まかな文章構成をつかませ、学習の見通しを持たせたい。

第2次の段階では、「イソギンチャクとクマノミ」「ホンソメワケベラと大きな魚」の関わり合いを読み取るために、主語と述語に着目して言葉や文にサイドラインを引いたり、写真を見たりしていくことにより、内容の大体をつかむことが出来ると考える。

定着教材では、まず、問いの文で読みの方向性を確かめる。そして、問いの文の答えを見つけるためには、主語と述語の関係を押さえていくことで、答えが明らかになっていくことを押さえたい。

第3次の段階では「生きもの はっけんブック」を作ることで、これまでに読み取りで学習した教材を参考にしながら、図鑑などで調べた他の生き物についてまとめさせたい。

5 単元の系統



6 単元の指導目標

書く力	読む力	言語の力
◎図書館などの本を読んで、「生きもの発見ブック」を作る。	◎「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。 ○語や文のまとめや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。	◎片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使う。

7. 単元計画と評価規準（全11時間 本時A組 3/11時 B組 7/11時）

次	時	主な学習活動	評価規準
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 海や魚の写真を見て、サンゴの海のイメージをもつ。 全文を声に出して読み、感想をもつ。 	(関) 興味をもって話し合ったり、意欲的に感想を書いたりしようしている。(観察・ノート) (読) 語や文のまとまりに気をつけて音読している。(観察)
	2	<ul style="list-style-type: none"> 「生きものはっけんブック」を書くために読む、という学習のめあてをもち、学習計画を立てる。 全体を3つ(4つ)のまとまりに分ける。 新出漢字の確認をする。 	(関) 学習のめあてをもち、学習計画を立てる。(観察・発言)
2	A組 本時 3	・イソギンチャクとクマノミの関わり合いを読み取る。	(読) イソギンチャクとクマノミの様子や関わり合いを、主語・述語を手がかりにして読み取っている。 (発言・ワークシート・観察)
	4	・イソギンチャクとクマノミの関わり合いをまとめる。	(読) イソギンチャクとクマノミの様子や関わり合いを、それぞれの生きものになったつもりで吹き出しにまとめている。 (発言・ワークシート・観察)
	5	・ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを読み取る。	(読) ホンソメワケベラと大きな魚の様子や関わり合いを、主語・述語を手がかりにして読み取っている。 (発言・ワークシート・観察)
	6	・ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いをまとめる。	(読) ホンソメワケベラと大きな魚の様子や関わり合いを、それぞれの生きものになったつもりで吹き出しにまとめている。 (発言・ワークシート・観察)
	B組 本時 7	・定着教材『卵をまもる生きものたち』で、主語・述語などを手がかりにして、生きものたちの卵のまもり方を読み取る。	(読) 問いの文や主語・述語、文末表現を手がかりにして読み取ることができる。 (発言・ワークシート・観察)
3	8	・「生きものはっけんブック」を書く目的で本を読み、書きたい生きものを決める。	(関) 海の生き物についての本を進んで読んでいる。(観察)
	9 10	・読み取ったことを絵と文にまとめ、工夫してカードに書く。	(書) 海の生き物についての本を調べて、分かったことを生き物カードにまとめている。 (観察・ノート)
	11	・グループで読み合い、友達の文章の良さを見つける。	(話・聞) 発表したり、感想を交流したりする中で友達の文章の良さを見つけようとしている。 (発言・観察)

8 本時の指導計画 (A組 3/11時)

(1) 本時の目標

イソギンチャクとクマノミの特徴とかかわり合いを読み取ることができる。

(2) 本時の具体の評価規準

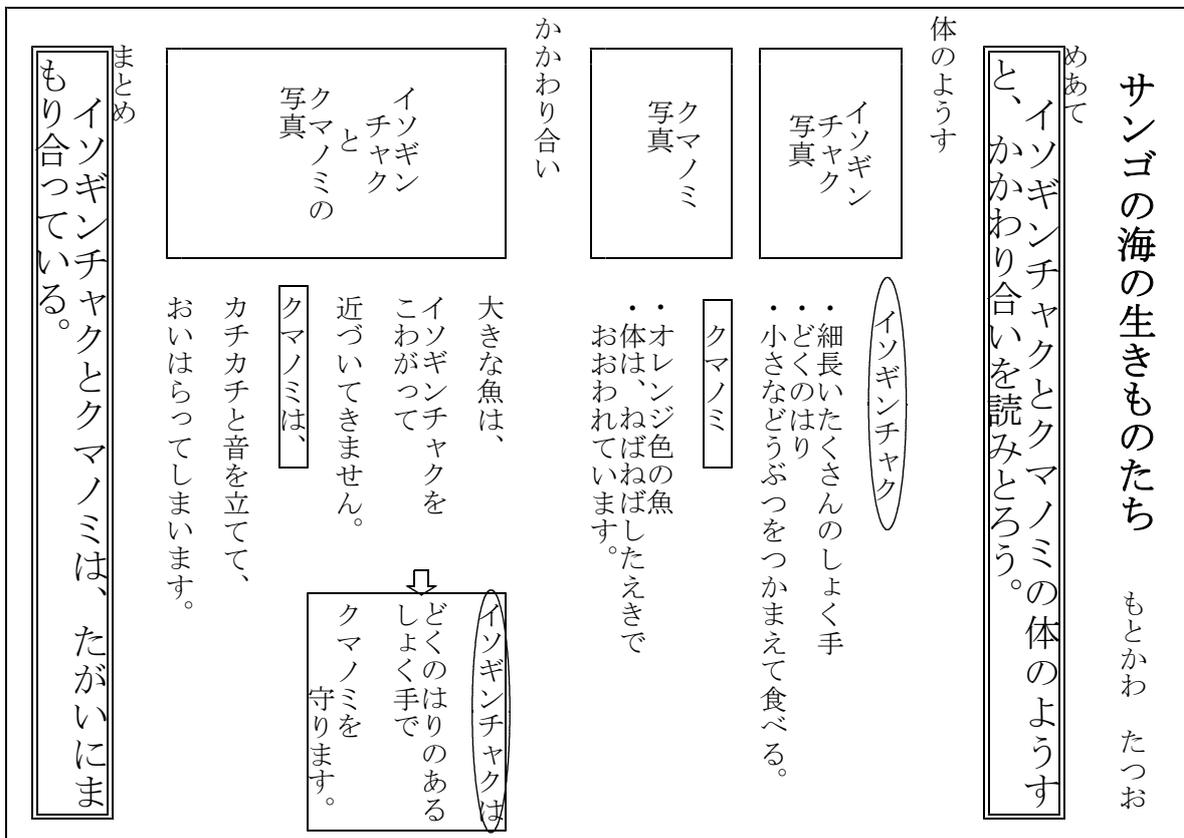
A	B	Cの児童への支援
主語・述語に気を付けて、特徴やかかわり合いを読み取ることができる。	文中から、特徴やかかわり合いを読み取ることができる。	写真や絵を文で確かめながら特徴やかかわり合いを見つけさせる。

(3) 本時の展開

過程	学習活動	○主な発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点
見 通 す	1 学習を想起する。	○前の学習で何を作ることにしたんですか。 ・生きものはつけんブック ○そのために、どのような書き方をしているか読み取っていきましょう。	・ 問いの文を受けて、主語・述語について気を付けて読むことで、何の生きもののどんなかかわり合いが読み取れるかを確認する。
	2 読みの方法を確かめる。	○問いの文から、どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているかを調べていくのでしたね。どんな生きものが、どんなかかわり合いをしているか、はっきりさせるために主語をはっきりさせて読んでいきましょう。	
	3 学習課題を確認する。	○この時間は、中のまとまりの①の場面を学習します。何の段落から何の段落ですか。学習する場面の海の生き物は何ですか。 ・③～⑥の段落 ・イソギンチャクとクマノミ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">イソギンチャクとクマノミの体のようすと、かかわり合いを読みとろう。</div>	
8分			
深 め る	4 本文を音読する。	○座ったままで音読をします。	<評価>教科書 ・ 発表をもとにまとめる。
	5 イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取る。 (1) サイドラインを引いて、主語と述語を見つける。 (2) イソギンチャクやクマノミの特徴などを見つける。 (3) イソギンチャクとクマノミの特徴をなるほどコーナーにまとめる。	○イソギンチャクの特徴には～を、クマノミの特徴にはーを引きましょう。 ○イソギンチャクやクマノミにはどんな特徴がありますか。 ・細長いたくさんのしよく手 ・どくのはり ・小さな魚をつかまえて食べる。 ・オレンジ色の魚 ・ねばねばしたえきでおおわれている。 ○発表をなるほどコーナーにまとめます。	
	6 イソギンチャクとクマノミとのかかわり合いを読み取る。 (1) イソギンチャクとクマノミのお互いに守り合っているところをまとめる。	○イソギンチャクが主語になっているところには ○ で囲みましょう。また、クマノミが主語になっているところには □ で囲みましょう。 ○クマノミは何をしていますか。 ・カチカチと音を立てている ・追い払っている。 ・イソギンチャクを守っている。 ○どの文から分かりますか。 ・「クマノミは、この魚が…」 ○その文の主語は、何ですか。 ・クマノミは ○「イソギンチャクは」という主語はどこにありますか。 ・大きなイソギンチャクが～	

深 め る	35分	<ul style="list-style-type: none"> ・イソギンチャクは、これで、～ ○クマノミはイソギンチャクに何をしてもらうのでしょうか。 ・守ってもらう ○クマノミがイソギンチャクといると安全だと分かる文はどこですか。 ・大きな魚は、～ ○大きな魚は、何を怖がって近づかないのですか。 ・イソギンチャクのしよく手 ・どくのはり 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語は「大きな魚は～」になっているが、イソギンチャクの様子などを切り返して、なぜ安全かを読み取らせる。
		<p><評価> 主語・述語に気を付けて、イソギンチャクとクマノミの様子や関わり合いを読み取ることができる。(ワークシート)</p>	
7	今日の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○イソギンチャクとクマノミがどんな「かかわり合い」になっているのでしょうか。 ・たがいにまもり合っている。 ○イソギンチャクとクマノミのかかわり合いをなかよしコーナーにまとめます。クマノミは、そのまままとめに書きますが、イソギンチャクは、「イソギンチャクは」に言いかえてまとめてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「イソギンチャクとクマノミは」という主語に着目させる。 ・イソギンチャクがクマノミを触手で守ってあげていることにふれて、まとめさせる。
8	次時の予告	○今日、なるほどコーナーとなかよしコーナーにまとめたことをみんなで声に出して読んでみましょう。	
まとめ 2分			

(4) 板書計画



9 本時の指導計画 (B組 7/11時)

(1) 本時の目標

問いの文に着目して読みの方向性を確かめ、主語・述語を手がかりにして内容を読み取ることが出来る。

(2) 本時の具体の評価規準

A	B	Cの児童への支援
問いの文と照らし合わせて答えの文を見付け、どのような行動をしたか読み取ることが出来る。	主語と述語に気をつけて、どのような行動をしたか読み取ることが出来る。	写真と文を結びつけながら、どのような行動をしているかを考えさせる。

(3) 本時の展開

過程	学習活動	○主な発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点
見 通 す 5 分	1 前時までの学習を想起する。	○「サンゴの海の生きものたち」の学習をした後にどんな物を作ることにしていましたか。 ・「生きものはっけんブック」を作ります。 ○どんなことが書いてあるか、読んでみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的なゴールを確かめることで、参考にするために本文を読み取ることを確認する。 ・全文範読する。 ・難解語句「ふ化」 ・難解語句「ち魚」 ・「はじめ」を追い読みする。
	2 学習課題を確認する。	○説明文を読み取るためには、何に気をつけて読んでいけばいいでしょう。 ・問いの文で聞かれていることを考えていけばいいです。 ○問いの文を探しながら読みましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どんな生きものが、どのようにして たまごをまもっているのでしょうか。 </div> ○課題の答えを考えながら読みましょう。	
深 め る 35 分	3 自分の考えを書く。	○自分の考えを、書いてみましょう。 ・トミヨは巣を作ってたまごをまもっている。 ・ネンブツダイは口の中にたまごを入れて守っている。 ・トゲウオは小鳥のような巣を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・間違えてもいいから、自分の考えを持たせて授業に臨ませる。 ・「主語」と「述語」という言葉を確認する。 ・ネンブツダイ、トミヨのオスに主語を絞る。 ・一人読みをする。
	4 読みの方向性と手がかりを確認する。	○どんな生きものが、どのようにしているかを読み取るためには、何に気をつけて読んでいけばいいでしょうか。 ・「だれ」が「どうしたか」に気をつければよい。 ○どんな生きものが出てきましたか。 ・ネンブツダイ、イトヨ、トミヨ、トゲウオ、オス、メス	
	5 全文を音読する。	○主語と述語に気をつけて、誰がどのようにしているかを確かめながら音読しましょう。	
	6 それぞれの生きものがどのような行動をしているか読み取る。	○ネンブツダイの行動に_____線を、トミヨの行動に~~~~~線を引きましょう。 ・ネンブツダイは口の中に卵をふくんで、敵に食べられないようにする。 ・ネンブツダイは口をパクパクさせて、口の中の水を入れかえます。 ・トミヨのオスは、材料を口でせっせと集める。	

	<p>7 それぞれの生きものの、守るための行動を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トミヨは巣の中の卵に水を送って世話をし、稚魚がよく泳げるようになるまで守り続けるのです。 ○サイドラインを引いたところの中で、守っていることが分かる文はどれですか。 ・ネンブツダイは口の中に卵をふくんで、敵に食べられないようにする。 ・ネンブツダイは口をパクパクさせて、口の中の水を入れかえます。 ・トミヨは卵に水を送って世話をし、稚魚がよく泳げるようになるまで守り続けるのです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「守るためにどのようなようにしているか」という課題に沿って考えさせる。
<p><評価> 主語・述語に気をつけて、内容を読み取っているか。 (ワークシート)</p>			
	<p>8 読み取ったことを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○初めに書いた自分の考えは合っていましたか。 ・あっていた。 ・問いに対する答えになっていなかった。 ・主語に合う述語になっていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語に対する述語が妥当であったか自己評価させる。
<p>まとめ 5分</p>	<p>9 本時の活動を振り返る。</p> <p>10 次時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習の感想を発表して下さい。 ・問いの文で聞かれていることを探せばよいことが分かった。 ・主語と述語に気をつけると、誰が何をしたか確かめられることが分かった。 ・◇◇さんの意見がなるほどなあと思った。 ○次の時間は、「生きもの発見ブック」を作りますよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取るために、主語と述語を手がかりにするとよいことを確かめる。 ・分かったことやよい意見を言った友達について発表させ、自信につなげる。

(4) 板書計画

ネンブツダイは、口の中にたまごをふくんでまもる。
トミヨは、すの中で、たまごをまもる。

トミヨ
写真

トミヨのオスは、ざいりょうを口でせつせとあつめはじめます。△
トミヨのメスが近づくと、オスはジグザグダンスをしてすにさそいます。△
さん卵がおわるとメスはいなくなりすすが、オスはすにのこります。△
そして、トミヨのオスは、すの中の卵に水をおくつて世話をし、ち魚がよくおよげようになるまでまもりつづけるのです。○

ネンブツダイ
写真

ネンブツダイは口の中に卵をふくんで、ときに食べられないようにするのです。○
卵がふ化するまでの間、ネンブツダイは口をパクパクさせて、口の中の水を入れかえます。○

ち

卵を まもる 生きものたち

どんな生きものが、どのようにして卵をまもっているのでしょうか。